

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。6月に「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第4回)」を公表した。

### 2018砂糖年度(10月～翌9月)の見通し

#### 【砂糖】

総消費量：190万7000トン(前回見通しから1万1000トン減)

総供給量：188万9000トン(同9000トン増)

#### 【加糖調製品】

消費量および供給量：53万6000トン(同3000トン減)

#### 【異性化糖】

消費量および供給量：83万5000トン(同2000トン減)

### (1) 砂糖の消費量

2017砂糖年度(10月～翌9月)の砂糖の消費量は、189万7000トン(前年度比1.7%減)となった(表1)。内訳を見ると、分みつ糖の消費量が186万1000トン(同1.7%減)、含みつ糖の消費量が3万6000トン(前年度同)であった。

2018砂糖年度の砂糖の消費量は、190万7000トン(前年度比0.5%増)と見通している。内訳を見ると、分みつ糖の消費量は、近年の消費動向などを勘案し、187万トン(同0.5%増)と見通している。含みつ糖の消費量は、近年の消費動向などを勘案し、3万7000トン(同2.8%増)と見通している。

### (2) 砂糖の供給量

2017砂糖年度の砂糖の供給量は、192万7000トン(前年度比2.0%増)となった。内訳を見ると、分みつ糖が190万7000トン(同2.0%増)、含みつ糖が2万トン(前年度同)であった。

2018砂糖年度の砂糖の供給量は、188万9000トン(前年度比2.0%減)と見通している。内訳を見ると、分みつ糖が186万9000トン(同2.0%減)、

含みつ糖が2万トン(前年度同)と見通している。国内産糖(分みつ糖)の供給量は、てん菜については、作付面積が前年産に比べて1.6%(約930ヘクタール)減少、作柄については春先の天候に恵まれ初期生育は順調に推移したが、6月中旬以降、多雨・寡照となり生育が停滞し、全体としては平年並みの生育となっていることから、産糖量は61万5000トン(前年産比6.4%減)、供給量は61万4000トン(精製糖換算。前年度比6.4%減)と見通している。

サトウキビについては、作付面積が前年産に比べて4.7%(約1104ヘクタール)減少、作柄については梅雨期の少雨により各地域で干ばつが発生したことや、6月の早い時期から台風が襲来したことにより一部地域で被害が見られるものの、平年並みの歩留まりとなることを見込んでいることから、産糖量は12万6000トン(前年産比6.1%減)、供給量は12万トン(精製糖換算。前年度比6.1%減)と見通している。

表1 2018砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,861	495.5	419.8	478.6	476.0	1,870	
	含みつ糖	36	6.6	11.1	11.3	7.6	37	
	合計	1,897	502.1	430.9	489.9	483.6	1,907	
供給量	国内産糖	分みつ糖	784	363.4	334.5	36.0	-	734
		含みつ糖	10	0.8	7.0	3.5	-	11
		小計	794	364.2	341.5	39.5	-	745
	輸入糖	分みつ糖	1,123	329.8	189.8	295.8	319.5	1,135
		含みつ糖	10	1.7	3.2	3.1	0.8	9
		小計	1,133	331.5	193.0	298.9	320.3	1,144
	合計	分みつ糖	1,907	693.2	524.3	331.8	319.5	1,869
		含みつ糖	20	2.5	10.2	6.6	0.8	20
		小計	1,927	695.7	534.5	338.4	320.3	1,889
期末在庫		311	502.1	578.8	418.7	255.4	255	

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

### (3) 加糖調製品の需給

2018砂糖年度の加糖調製品の消費量は、近年の輸入動向などを踏まえ、53万6000トン（前年度比

1.5%増）と見通している（表2）。また、加糖調製品の供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表2 2018砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

	2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	528	154.8	112.6	133.9	134.5	536
供給量	528	154.8	112.6	133.9	134.5	536

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：2018砂糖年度の消費量は、2017砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

### (4) 異性化糖の需給

2018砂糖年度の異性化糖の消費量は、近年の消費動向などを踏まえ、83万5000トン（前年度比

0.4%増）と見通している（表3）。また、異性化糖の供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表3 2018砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	182.2	186.7	243.2	222.8	835
供給量	832	182.2	186.7	243.2	222.8	835

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

## 2. 輸入動向

### 【粗糖の輸入動向】

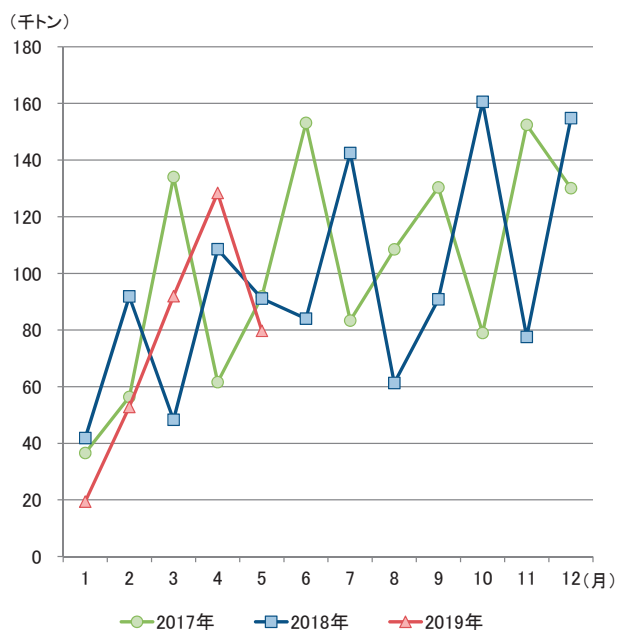
#### 5月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2019年5月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、7万9707トン（前年同月比12.5%減、前月比37.9%減）であった（図1）。

輸入先国は豪州およびタイで、輸入量は次の通りであった（図2）。

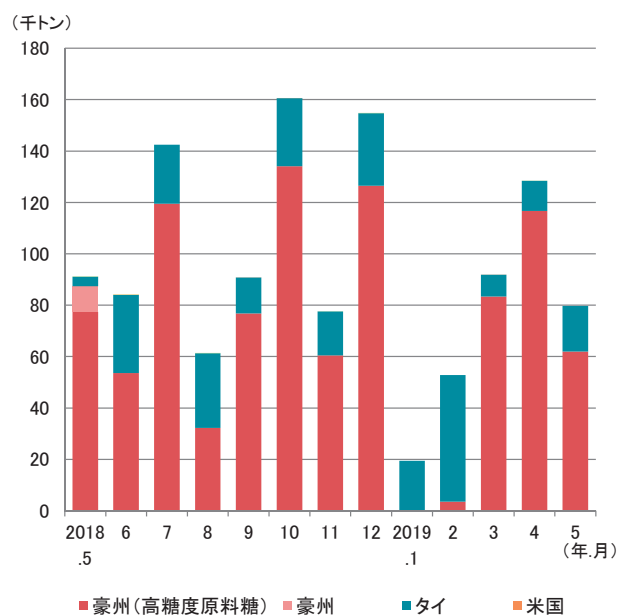
豪州	6万1933トン
	（前年同月比29.1%減、前月比46.9%減）
タイ	1万7774トン
	（同4.8倍、同52.2%増）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



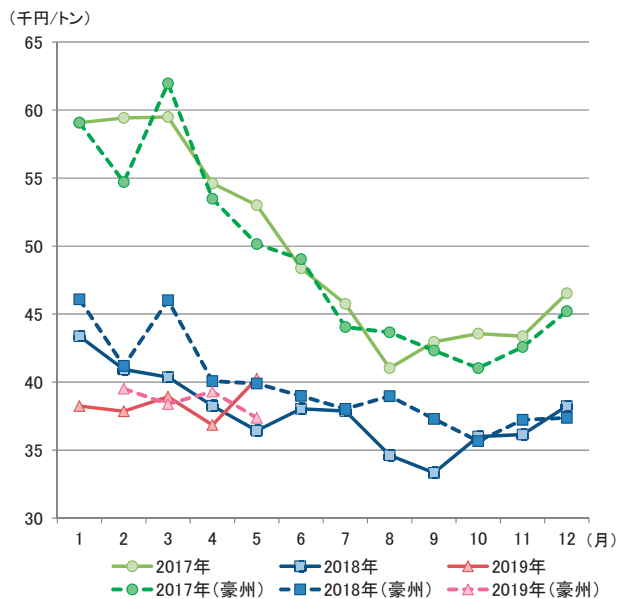
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2019年5月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、4万246円（前年同月比10.5%高、前月比9.2%高）であった（図3）。

タイ	4万246円
	（前年同月比16.1%高、前月比9.2%高）

また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万7373円（前年同月比6.3%安、前月比4.9%安）であった。

図3 粗糖の輸入価格の推移

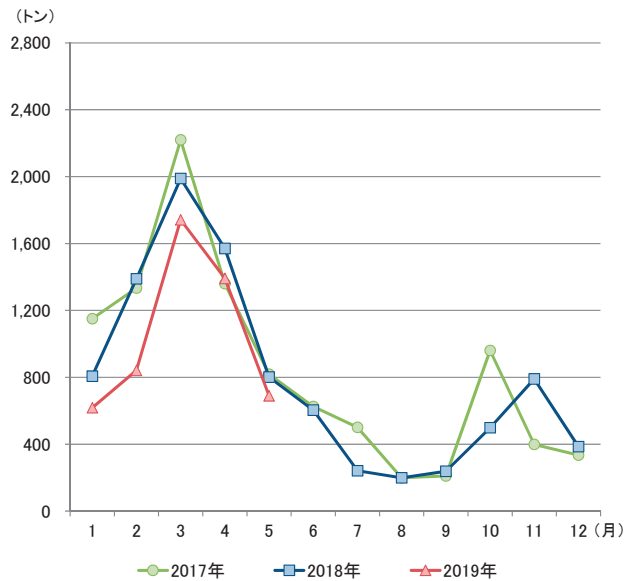


資料：財務省「貿易統計」

注1：実線はHSコード1701.14-110、点線は同1701.14-200（豪州のみ）。

注2：2019年1月はHSコード1701.14-200の豪州からの輸入実績なし。

図4 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

## 【含みつ糖の輸入動向】

### 5月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2019年5月の含みつ糖（HSコード1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、690トン（前年同月13.9%減、前月比50.4%減）であった（図4）。

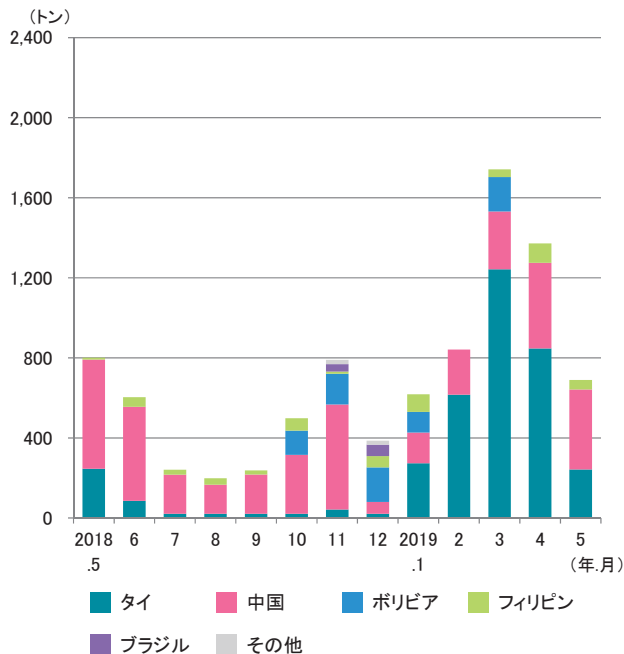
輸入先国は中国、タイおよびフィリピンで、国別の輸入量は次の通りであった（図5）。

中国 400トン  
（前年同月比26.6%減、前月比6.5%減）

タイ 242トン  
（同1.6%減、同71.4%減）

フィリピン 48トン  
（同4.8倍、同50.5%減）

図5 含みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

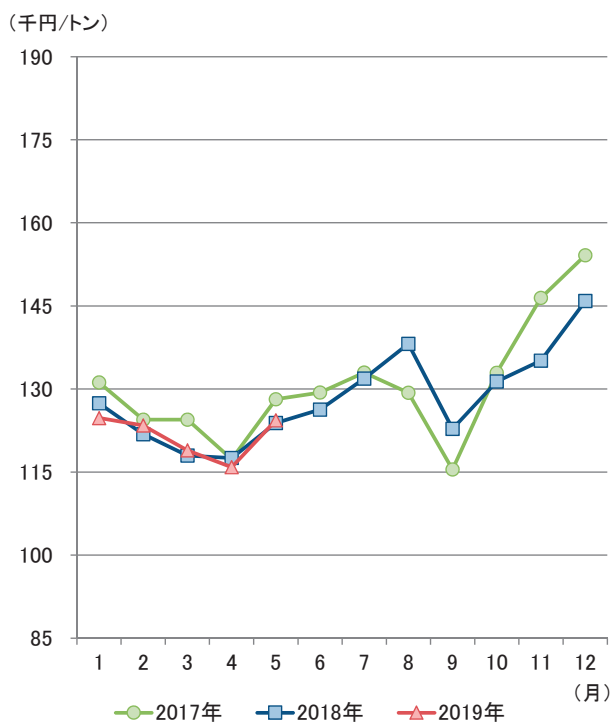
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2019年5月の1トン当たりの輸入価格は、12万4351円（前年同月比0.4%高、前月比7.3%高）であった（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国 12万5645円  
 (前年同月比2.1%安、前月比3.8%高)  
 タイ 12万1219円  
 (同12.6%高、同7.8%高)  
 フィリピン 12万9354円  
 (同53.5%安、同6.2%高)

図6 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

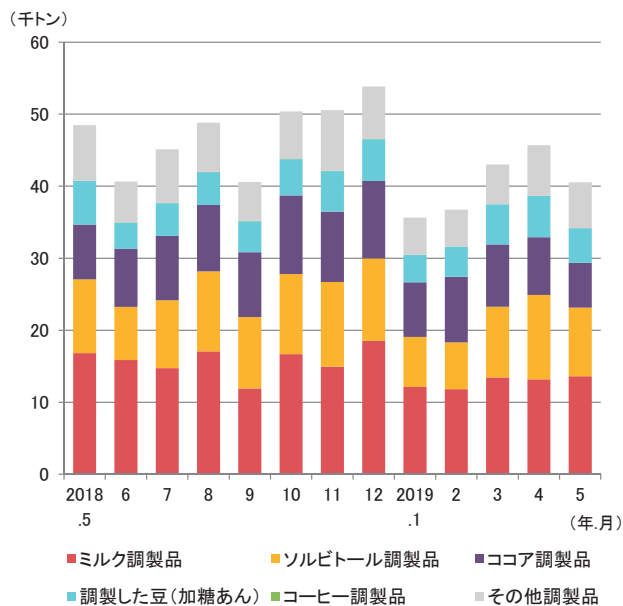
【加糖調製品の輸入動向】

5月の加糖調製品の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年5月の加糖調製品の輸入量は、4万527トン（前年同月比16.4%減、前月比11.3%減）であった（図7）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図7 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：各品目のHSコードは次の通り。  
 【2018年12月まで】  
 ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211  
 コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246  
 調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190  
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284  
 ソルビトール調製品：2106.90-510  
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219  
 【2019年1月から】  
 ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213  
 コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246  
 調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199  
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284  
 ソルビトール調製品：2106.90-510  
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品の品目別輸入数量（5月）

区分	輸入量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
ミルク調製品	13,614	▲ 19.1	3.3
ソルビトール調製品	9,519	▲ 7.0	▲ 18.8
ココア調製品	6,222	▲ 18.6	▲ 22.4
調製した豆（加糖あん）	4,790	▲ 20.6	▲ 16.2
コーヒー調製品	31	45.7	▲ 37.1
その他調製品	6,352	▲ 17.8	▲ 9.6

資料：財務省「貿易統計」

### 3. 異性化糖の移出動向

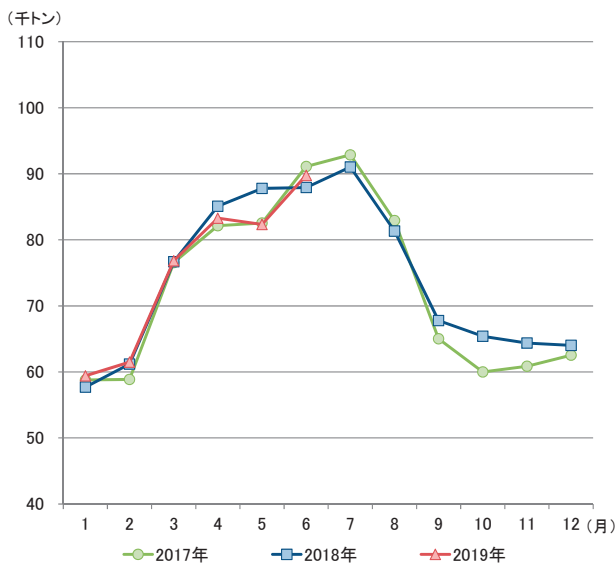
#### 6月の移出量は前年同月からわずかに増加

2019年6月の異性化糖の移出量は、8万9771トン（前年同月比2.1%増、前月比9.0%増）であった（図8）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図9）。

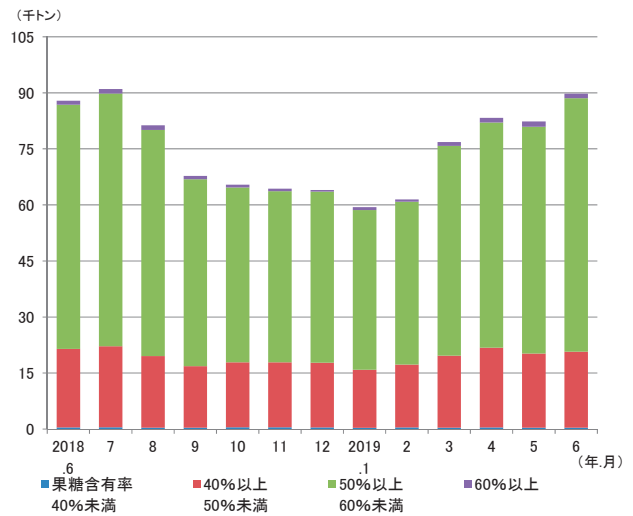
- 果糖含有率40%未満 384トン  
（前年同月比14.0%減、前月比1.3%減）
- 同40%以上50%未満 2万336トン  
（同3.2%減、同2.5%増）
- 同50%以上60%未満 6万7831トン  
（同3.8%増、同11.7%増）
- 同60%以上 1219トン  
（同10.4%増、同12.3%減）

図8 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図9 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

### 4. 価格動向

#### 【市場価格】

#### 砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

6月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

- 東京 1キログラム当たり187～188円
- 大阪 同187～188円
- 名古屋 同191円
- 関門 同191円

上白糖（小袋）

- 東京 1キログラム当たり199～202円
- 大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

- 東京 1キログラム当たり192～193円
- 大阪 同192～193円
- 名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

- 東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円  
名古屋 同189円

6月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの  
1キログラム当たり131～132円  
果糖分55%もの  
同137～138円

### 【小売価格】

#### 6月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で22.1円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける6月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、193.5円（前年同月差0.1円安、前月差3.1円高）であった。

同月の地域別<sup>（注）</sup>の平均小売価格は次の通りであった（表5）。

表5 上白糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	200.5	1.3	0.0
東北	201.5	▲2.4	▲1.3
関東など	184.1	0.3	▲0.4
首都圏	193.7	2.6	10.9
中部	182.2	1.3	0.1
関西	192.2	▲1.7	0.3
中国・四国	204.3	2.0	4.0
九州・沖縄	193.9	▲6.4	2.9
全平均	193.5	▲0.1	3.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は22.1円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

#### 6月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で73.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける6月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.2円（前年同月差0.9円安、前月差0.2円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	203.2	▲0.9	▲1.6
東北	276.5	▲0.9	1.8
関東など	247.0	▲3.1	▲0.2
首都圏	252.7	2.8	▲0.2
中部	251.3	1.7	0.3
関西	229.6	▲0.5	▲0.4
中国・四国	253.5	▲1.1	1.1
九州・沖縄	215.9	▲10.5	0.2
全平均	243.2	▲0.9	0.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は73.3円であった。

#### 6月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で54.8円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける6月の三温糖小袋（1キログラム）

の平均小売価格は、236.7円（前年同月差0.1円高、前月同水準）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	245.9	▲ 3.7	6.6
東北	262.8	3.9	1.6
関東など	243.9	0.1	▲ 0.5
首都圏	229.1	▲ 2.5	▲ 5.2
中部	229.0	▲ 1.6	0.5
関西	231.2	3.4	0.0
中国・四国	251.7	3.0	2.7
九州・沖縄	208.0	▲ 3.3	0.1
全平均	236.7	0.1	0.0

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

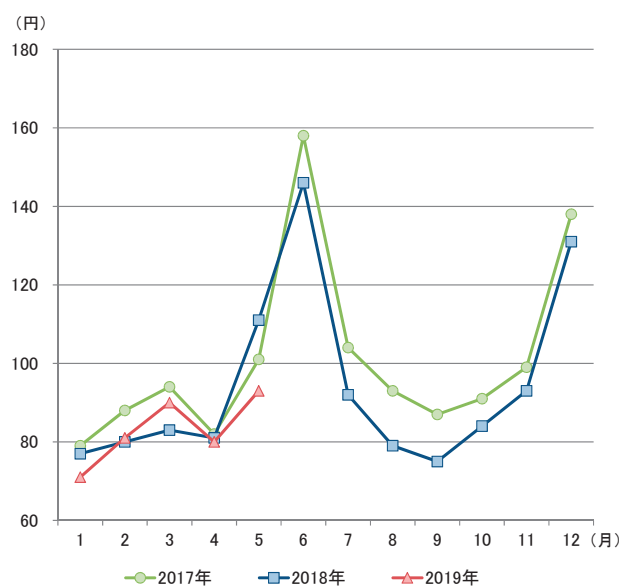
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は54.8円であった。

### 【購入金額および購入量】

#### 5月の砂糖の支出金額は前年同月から大幅に下落

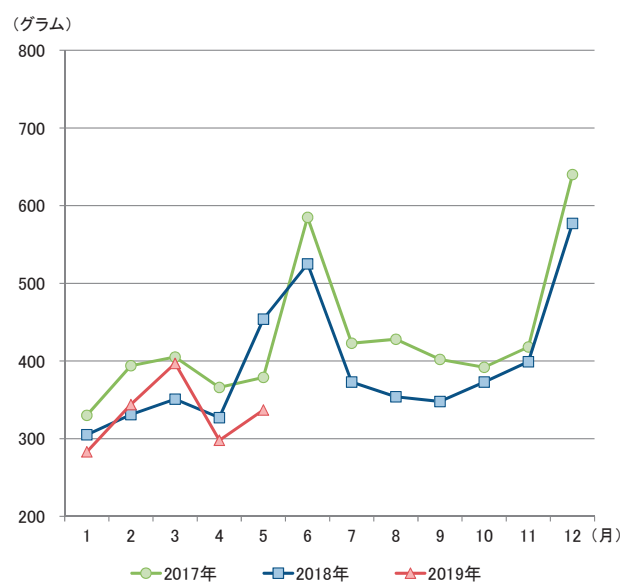
総務省「家計調査」によると、2019年5月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は36、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、93円（前年同月比16.2%安、前月比16.3%高）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、337グラム（同25.8%減、同13.1%増）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖の支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」